

❖旧街道・町歩きのみどころ

平安時代、姫路から三木を經由して有馬の湯に通じる道が整備されだしました。戦国時代に入り、この有馬の湯を知った秀吉は、三木合戦の最中、兵卒のけが人に対して、この有馬の湯を汲んできて、安福田の野風呂で療養させたと伝えられており、軍師の竹中半兵衛が病氣療養のため、この湯の山街道を通ったと言われています。

江戸時代には、参勤交代や西国からの湯治客が往来しました。湯の山街道には古民家などが今も点在し、虫籠窓やうだつ、舟板壁といった昔の風情を感じさせてくれるものが残っています。また、別所長治の金天目茶碗（雲龍寺）や秀吉ゆかりの小袖や蒔絵箱（本長寺）、秀吉の制札（本要寺）が今も残されています。



湯の山街道の「うだつ」



湯の山街道の「虫籠窓」



雲龍寺



吉祥山 本要寺



湯の山街道の「舟板壁」

❖旧街道周辺年間歳時記

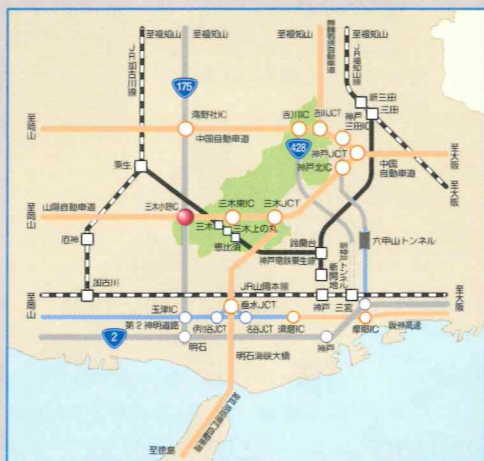
1月	【第2土曜とその翌日の日曜・翌々日の月曜】	戎まつり《戎神社》
	【17日】	別所公祥月命日法要《雲龍寺》
	【第3日曜日】	鬼追式《大宮八幡宮》
4月		桜《リバーサイドパーク》
5月	【5日】	別所公春まつり《三木城跡ほか》
7月	【18日】	夏の義民祭《本要寺》
10月	【体育の日(祝)の前の土・日曜】	大宮八幡宮秋祭り《大宮八幡宮》
	【第3土・日曜】	岩壺神社秋祭り《岩壺神社》
11月	【第1土・日曜】	金物まつり《三木山総合公園内》
12月	【8日】	冬の義民祭《本長寺》
	※毎月第1日曜日	金物古式鍛錬 《古式鍛錬場：金物神社内》

📞お問い合わせ・連絡先

一般社団法人三木市観光協会 TEL.0794-83-8400 FAX.0794-82-6636
http://www.mikishi-kankou.com/

三木市産業振興部観光振興課 TEL.0794-82-2000 FAX.0794-82-2019
https://www.city.miki.lg.jp/

❖交通アクセス



- 🚗 車利用の場合
大阪より山陽自動車道三木小野ICまで約60分。
神戸・三宮から新神戸トンネル経由で約40分。
明石から国道175号で約30分。
- 🚆 鉄道利用の場合
神戸電鉄新開地駅（粟生線）より約45分。
JR加古川線厄神駅より神姫バスで三木駅まで約20分。
- 🚌 バス利用の場合
JR三ノ宮駅東の神姫バスターミナルから約50分。
JR明石駅から神姫バスで約40分。

街道をゆく

長治公、そして秀吉に愛され、形染・大工道具・金物の町へと
変遷してきた城下町・播州三木

三木
Miki City

兵庫県三木市



旧小河家別邸、県指定名勝に指定された庭園

● 旧小河家別邸 国登録有形文化財

明治から大正にかけて初代郡議員・三木町長などを歴任し、また三木銀行の設立に貢献して地域の政治家・実業家として活躍した小河秀太郎が明治の末期に別荘として造営したものです。2,204.95㎡の広大な敷地に建物と庭が上手く調和し、建物は当時の技術や材料の粋を集めた近代和風建築で、庭は高い技術と意匠を備えた池泉回遊式庭園として造られ、何れも高く評価されています。建物は平成18年に国登録有形文化財に、庭園は平成19年に国登録記念物に登録、平成30年3月には県指定名勝に指定されました。(月～水曜日休館)

● 旧玉置家住宅 国登録有形文化財

文政9年(1826年)に建てられた母屋2棟と土蔵が残っており、当時は、今の紙幣や小切手、商品券にかわる切手札と金銀を交換する切手会所として開設されていました。(火曜日休館)



旧玉置家住宅の台所

● 志るしの杉玉

奈良県の三輪神社の御神体である三輪山の杉を使って作られています。新酒が出来たときに蔵元の玄関に飾られます。



市立三木小学校

Map ©Marks Designworks

● 古民家等 ● 名所・旧跡 ● 公共トイレ ● 飲食店 ● コンビニ ● 駐車場 ● バス停

● MIKI 夢ステーション

旧三木鉄道車両車庫をリニューアルし、新たに「MIKI 夢ステーション」をオープンしました。惣菜や日用品のほか、うどんや定食の食事提供もしています。(木曜日定休)



● 三木鉄道ふれあい館

廃止された旧三木鉄道三木駅が、平成22年春、地域の交流拠点として生まれ変わりました。周辺地域の活力の源となる一方、三木鉄道(旧国鉄を含む)で使われてきた物品や写真展示などで、鉄道を懐かしむ空間を設け、三木市の情報発信基地の一つとなります。(月・木曜日定休)



● 市立みき歴史資料館

三木の古代から現代までの貴重な歴史資料を展示しており、みき歴史・美術の杜みきゅーじあむのインフォメーションとしての役割を持ち、まちづくり活動や歴史イベントの開催及び観光案内など、三木の歴史や文化を発信しています。(月曜日・祝日の翌日休館) ※月曜日が祝日、祝日の翌日が土・日曜日の場合は開館



● 国史跡 三木城跡

天正6年(1578年)別所長治のとき、織田信長と戦い、信長の家臣・羽柴(豊臣)秀吉の大軍に包囲されて攻防1年10ヶ月、兵糧攻め策力に遭い、天正8年1月17日に城主一族は自刃して三木城を開城しました。開城後は、羽柴秀吉の支配下となりましたが、その後、江戸幕府による一国一城令により元和3年(1617年)三木城を壊して明石に移築しました。



別所長治公辞世の歌碑(三木城跡)